

平成27年度病害虫発生予察特殊報第1号

平成27年12月1日
愛知 県

- 1 病害虫名 シソサビダニ (*Shevtchenkella* sp.)
- 2 発生作物 シソ、エゴマ (シソ科)
- 3 発生地域 東三河地域
- 4 発生確認の経過

平成25年8月中旬に、東三河地域の施設栽培の青じそ（大葉）及びエゴマ、露地栽培の赤じそで、生長点付近の新葉を中心にさび症状が現れる被害が発生した（写真1、2）。被害部位に多数のフシダニの寄生が確認されたため、法政大学生命科学部の上遠野富士夫教授に本種の同定を依頼したところ、*Shevtchenkella* 属の一種、和名シソサビダニであることが判明した。

5 形態及び特徴等

(1) 形態及び生態

成虫は体長約0.15~0.20mm程度で、紡錘形をしており、淡黄色から黄色を呈する（写真3）。非常に微小なダニのため、肉眼での観察は困難である。本県では、シソ（青じそ、赤じそ）、エゴマ以外での寄生を認めていない。本種の詳細な発生生態は不明である。

(2) 被害の状況

シソ、エゴマとも主に生長点付近の茎葉に寄生し、さび症状を引き起こす（写真1、2）。また、シソモザイク病（仮称）の病原ウイルスである *Perilla mosaic virus* (PMoV)（仮称）を媒介する（写真4）。

6 国内での発生状況

平成26年に高知県のシソで発生が確認されている。

7 防除対策

近年発見されたフシダニであるため、防除対策について不明な点が多いが、次の2点の防除対策が有効であると考えられる。

- (1) 苗への本種の寄生を防ぐため、本ぽと別の場所で育苗する。
- (2) 寄生株やさび症状を呈した株を見つけ次第抜き取り、ほ場外に持ち出して適切に処分する。その際、ビニル袋などに入れ密閉して、本種が健全株へ移らないように注意する。

8 参考資料

上遠野富士夫・岸本秀成（2013）：日本の農作物から新たに発見されたフシダニ2種について 応動昆第57回大会講要 57：78

9 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085 内線471



写真1 青じそのさび症状



写真2 エゴマのさび症状

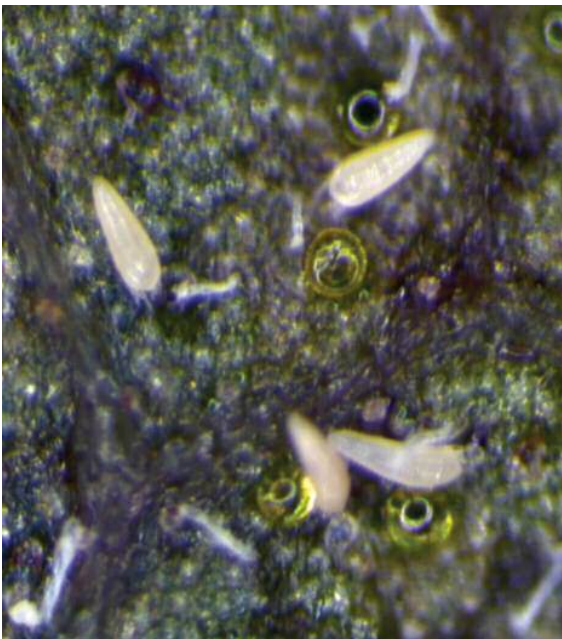


写真3 赤じそ葉裏に寄生する
シソサビダニ



写真4 青じそのシソモザイク病発病株